

# 地域福祉の推進

## 現状と課題

社会福祉の問題は、特定の人に生じる問題ではなく、日常生活を送る上で私たち誰もが抱える問題であるということ意識し、地域でのつながりやふれあいを大切にしていける必要があります。

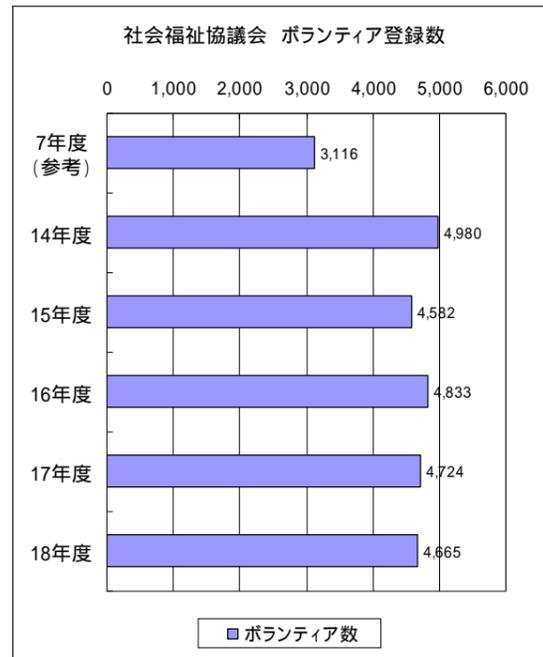
本市においては、阪神淡路大震災を機にボランティア活動等に参加する気運が非常に高くなっています。

バリアフリー化の取り組みとして、市内にある鉄道駅舎についてエレベーター、多機能トイレ等の設備を整えるよう進めています。

高齢者、子ども、障害のある人など、市民の誰もが住み慣れた地域で心豊かに安心して暮らせるまちづくりが求められています。

市民・福祉団体・福祉施設関係者等と行政が、それぞれの役割の中で、お互いに連携し、「自助」「共助」「公助」を組み合わせさせた仕組みを構築していく必要があります。

核家族化や地縁関係の希薄化により家庭や地域で世代間の交流が減ってきています。



1日当たり乗降者5,000人以上のエレベーター設置対象駅	エレベーター設置年度	
阪神	今津	H10~12
	西宮	H10~12
	香櫨園	H10~12
	武庫川	H16
	甲子園	-
阪急	西宮北口	S62~H15
	甲東園	H10
	夙川	H14
	阪神国道	H18
	今津	H7
JR	西宮名塩	H5・H15
	西宮	H9
	さくら夙川	H18
甲子園口	H20	

## 基本方針

市民一人ひとりの地域に対する思いやりや福祉に対する意識を高めるとともに、地域活動、福祉活動への市民の積極的な参画と活動のネットワークを広げていきます。

また、ユニバーサルデザインの視点から、すべての市民が利用しやすいまちづくりを進めていきます。

## 主要な施策展開

### (1) 地域福祉活動の推進

市民主体のまちづくりの実現に向け、社会福祉協議会、民生委員・児童委員、ボランティア団体やNPO、各種福祉団体、事業者、行政による自助・共助・公助が重層的に組み合わさった地域福祉システムの構築を図り、市民一人ひとりが尊重しあい支えあう心かようまちづくりを目指します。

また、総合的な多世代ふれあい事業を推進します。

### (2) 情報提供の充実

福祉に対する市民意識の高揚を図るため、広報や講演、イベントなどを通じた啓発活動を推進するとともに、ホームページなどを活用し、地域での取り組みの紹介を行うなど、情報提供の充実を図ります。

### (3) 市民にやさしいまちづくりの推進

鉄道駅舎のエレベーター設置など、公共施設・民間施設においてバリアフリー化を進めるとともに、公園、道路、住宅などあらゆる社会資源に対して、ユニバーサルデザインの視点に立ったまちづくりを進めます。

## 市民一人ひとりの活動

福祉に対する意識の向上  
日常の声掛けなどの地域サポート

地域活動への積極的な参加

## まちづくり指標

### < 指標の考え方 >

地域における福祉活動を支えるボランティアの役割が非常に大きいことから、ボランティア登録数の増加を重点指標に位置付けます。また、高齢者や障害のある人などの社会参加をサポートするため、多くの人が利用する鉄道駅のバリアフリー化に取り組みます。

重点	指標名	単位	現状値 (H18)	目標値 (H30)	指標方向
	西宮市社会福祉協議会に登録しているボランティア数	人	4,665	6,100	▲
	H30目標値の設定理由	式	現状値の30%増を目指します		
	西宮市内鉄道駅舎エレベーターの設置箇所数(乗降者5,000人以上/1日)	箇所	12	15( )	▲
	H30目標値の設定理由	式	市内にある対象15駅舎すべての整備完了を目指します		
	多世代ふれあいセンター	箇所	0	1	▲
	H30目標値の設定理由	式	多世代の交流の場を設置します		

現在、阪神鳴尾駅は平地駅ですが、阪神電鉄本線連続立体交差事業(鳴尾工区)によって高架化され、エレベーターを設置する予定となっているため、数値に加えています。

## 主な部門別計画

西宮市地域福祉計画  
西宮市交通バリアフリー基本構想

【健康福祉局：平成17年4月～平成22年3月】  
【都市計画部：平成15年7月～平成23年3月】